

令和6年8月8日

埼玉県知事・さいたま市長の意見交換会／結果概要

1 「さいたま市みんなのアプリ」の周知と「パパ・ママ応援ショップ」への協力依頼について

- 令和6年7月31日、市内の加盟店で利用できるデジタル地域通貨機能を含む「さいたま市みんなのアプリ」がサービス開始となった。「さいたま市みんなのアプリ」は、デジタルやキャッシュレスに親和性の高い子育て世代を利用者のボリューム層として見込んでいる。
- アプリの運用開始に伴い、県市が協力して、デジタル地域通貨の加盟店及びさいたま市内のパパ・ママ応援ショップ協賛店の拡大に取り組む。今後も必要に応じて協力していく。

2 家庭から出る使用済みリチウムイオン電池からのレアメタル回収について

- リチウムイオン電池からレアメタルを回収する取組は、循環型社会の実現に貢献するとともに、この取組を通じた普及啓発によりリチウムイオン電池の適正分別も促進できることから、大変重要である。
- 将来、県全域に広げられるような再資源化スキーム構築に向けて、県・市で家庭から出る使用済みリチウムイオン電池からレアメタルを回収する実証実験を行い、効率的な仕分け方法などについて、一緒に検討していく。

3 イベント開催時における機運醸成やPR 活動の推進について

(第75回全国植樹祭、第38回全国健康福祉祭埼玉大会、大宮盆栽村開村100周年)

- 令和7年度に開催される第75回全国植樹祭、同じく令和7年に開村100周年を迎える大宮盆栽村、令和8年度に県市共催で行われる第38回全国健康福祉祭埼玉大会について、県・市が連携してPR活動を実施していく。